

課題番号：処-206

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「環境動態」 課題「周辺環境への影響評価」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し				
			PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由		輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復			1	
		（参考）関連する研究課題					
1	放射性物質の存在形態と輸送挙動を把握したい	●放射性物質の周辺環境への影響評価を行うために、必要な基礎的知見として放射性物質の存在形態と輸送挙動を把握しておくことが望ましい。 ●具体的には、放射性物質の地下水中での存在形態、土壌との分配、地下水中の移流・拡散挙動、表層における存在形態と移流・拡散、港湾における海水中や海底における放射性物質の存在形態と溶融・拡散挙動、さらには海洋や大気を介した周辺環境への移行挙動が対象となる。	【実施されている研究課題】	特になし			
			【検討されている研究課題】	特になし			
関連する課題							